

公共事業環境配慮書(案)

建設部 飯田建設事務所 整備課

事業名称		
事業名	防災・安全交付金(総合流域防災)急傾斜地崩壊対策事業	
整理番号	R4-5	
事業の種類	急傾斜地崩壊防止工事	
市町村名	飯田市	
箇所名	青木	
事業年度	平成27年～令和6年	
事業概要		
目的	勾配30～38°、がけ高さ12～27mの急斜面であり、保全対象として家屋28戸、市道等が存在する。風化による斜面の侵食が進んでおり、崩壊による人的被害の危険性が高まっていることから、早急に対策を講じ民生の安定を図る。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	法面工 L=519m A=16370m ²	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律の急傾斜地崩壊危険区域	
その他	なし	
社会的要素		
留意すべき地域の概況		
交通の現況	斜面下方に市道が存在する。	
土地利用の現況	斜面には主に竹林と雑木林が生育し、一部は果樹園として利用されている。 斜面中に中部電力の鉄塔が2基存在する。	
生活関連施設の現況	斜面上段には法肩に面して家屋が密集している。 斜面下段には家屋、要配慮者利用施設(デイサービスみつばさ)、飯田市上水道県配水池等が存在する。	
その他	特になし	
自然的環境要素		
環境配慮の方針		
大気環境	留意すべき地域の概況	特になし
	【大気汚染の防止】	
	・交通流の円滑化により、大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	
	・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。	
	【騒音、振動の防止】	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働をできる限り避ける。	
	・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。	
【悪臭の防止】		
・悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。		

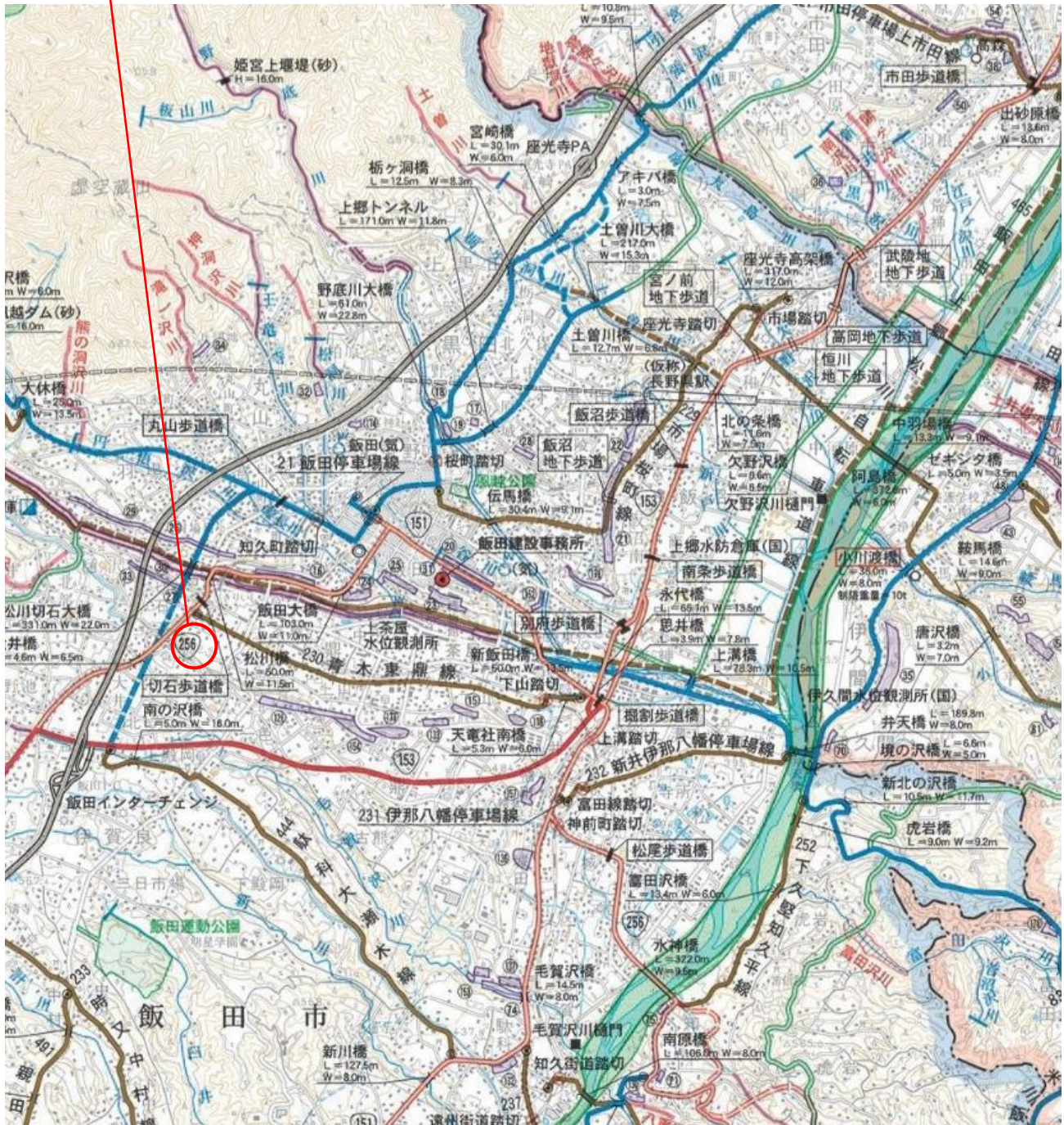
水環境	留意すべき地域の概況	近隣に上水道配水池が存在する 斜面下方に水路が存在する
	【水質汚濁の防止】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーンソーを使用する際は、生分解性チェーンオイルを使用する。 ・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。 	
地形・地質	留意すべき地域の概況	崩壊地形である
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地すべり、崩壊、土石流等の危険性の高い地域や、近い将来活動する可能性のある活断層の区域の改変をできる限り避ける。 	
	【改変面積の最小化】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・法面勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。 ・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。 ・段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。 	
野生動植物	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・回避すべき重大な影響は想定できない。 	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・回避すべき重大な影響は想定できない。 	
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・回避すべき重大な影響は想定できない。 	
【地域独自の生物多様性の保全】		
<ul style="list-style-type: none"> ・回避すべき重大な影響は想定できない。 		
【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】		
<ul style="list-style-type: none"> ・回避すべき重大な影響は想定できない。 		

景観	留意すべき地域の概況	特になし
	【すぐれた景観の保全】	
	・想定される影響はない。	
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【自然とのふれあい空間の創出】	
・想定される影響はない。		
文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
	【文化財等への配慮】	
	・想定される影響はない。	
廃棄物・ 建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	【資源の有効利用】	
	・使用基準等に留意の上、再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用を推進する。	
	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	
・アイドルリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。		
・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。		
日照障害・ 電波障害・ 光害	【エネルギーの有効利用】	
	・想定される影響はない。	
	【日照障害への配慮】	
	・想定される影響はない。	
【電波障害への配慮】		
・想定される影響はない。		
【光害への配慮】		
・想定される影響はない。		

防災・安全交付金(総合流域防災)急傾斜地崩壊対策事業
(急)青木 飯田市 青木

位置図

施工箇所



この地図は、国土地理院長の承認を得て、
同院発行の5万分1地形図を複製したもので
ある。(承認番号 平26関複、第50号)